

人間ドック助成など保健事業を積極推進

「こくほだより」、HPで有効な情報を提供
被保険者数は減少に転じる

京都市



市では保健事業の充実を積極的に進めており、一日人間ドック助成事業では、平成18年度は1万2千人余が受診し、事後指導も兼ねた健康づくり講演会も開催した。広報では、広報誌「こくほだより」のほかホームページ、「市民しんぶん」などで有効な情報提供に努めている。



（市の概要）

京都府の南部にあり、1,200年を超える悠久の歴史の中で京都盆地を取り囲む三方の山々や鴨川・桂川などの豊かな自然と、世界遺産をはじめとする数多くの歴史的資産や風情ある町並みとが融合し、美しい景観を形成してきた歴史都市です。

北は南丹市、南は宇治・八幡の両市と久御山町、東は滋賀県と境を接し、西は亀岡・向日・長岡京の3市、大山崎町及び大阪府に接する内陸の都市であり、西暦794年京都盆地の北東部に遷都された平安京をもとにして、隣接町村の編入を重ね、現在11行政区、面積827.9㎡となっています。

国保の概況

被保険者数は減少に、世帯数も伸び率鈍化

市国保の加入状況は、平成18年度末で281,293世帯、490,345人であり、京都市民全体に対する加入割合は、世帯数で42.6%、被保険者数で33.4%となっており、市民の健康を守る医療保険制度の中心的な役割を果たしています。

被保険者数の動向は、平成9年度からは毎年度約1万～1万4千人程度の増加を続けていましたが、平成15年度からは被保険者の増加に鈍化の傾向が見られ、平成17年度にはほぼ横ばい、平成18年度は減少に転じています。世帯数については、核家族化の影響により増加傾向にあります。その伸び率はやや鈍化しています。

徴収率向上に実績上げる

本市においては高齢者と低所得者の加入割合が高い状況にあり、減額適用状況では政令指定都市の中で最高となっています。このような中で、国保財政の安定な運営と保険料負担の公平性の確保を図るため、平成17年度から所得割保険料の算定方式を、所得に比例して算定する方式に変更しました。また、徴収率の向上は、国保財政の安定の重要な課題であることから、「京都市国民健康保険徴収率向上対策本部」を中心に、夜間や休日の取り組みなど市区一体となった取り組みをおこない、平成17、18年度は前年度比で大幅に上回りました。

医療費適正化・保健事業への取り組み

嘱託医配置でレセプト点検充実

本市では医療費の適正化を目指し、数々の取り組みを進めています。

このうちレセプト点検では、現在11名の嘱託職員で縦覧点検を実施するとともに、レセプト点検の精度を高めるために、内科・外科医及び歯科医の嘱託医を配置し、レセプト点検の充実と点検体制の強化を図り、医療費の適正化に努めています。

きびしい運営状況の中ですが、保健事業の充実も積極的に進めており、1日人間ドック助成事業では、平成18年度は12,099名が受診し、3月には事後指導を兼ねた健康づくり講演会を開催しました。



レセプト点検の様子

「元気・アクションクラブ」の充実図る

また、健康増進施設を利用した健康づくり事業「元気・アクションクラブ」の実施、平成15年度からは、高齢者の健康の保持・増進のきっかけづくりを提供するため、はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業を開始するなど制度の充実を図り、疾病予防に取り組んでいます。

診療の機会に恵まれない地区の被保険者のために、医師会・歯科医師会の協力を得て、診療所を設けて、定期的に診療を行っており、平成18年度には、久多診療所の整備を行い、スロープ・車椅子対応便所を設置したバリアフリー対応施設に改築を行いました。

広報活動

「こくほだより」など多様な媒体を活用

本市は広範な市域を有しており、広報活動が難しいのが現状です。このため、国保独自の広報媒体として、昭和60年から小冊子A4版の広報誌「こくほだより」を創刊し、事業状況（予算・決算）国民健康保険事業、健康づくりに関する情報などの提供を行ってきました。

さらに、市保険年金課のインターネットホームページの更新を随時行って、最新の広報資料の提供し、「市民しんぶん」（全市版、各区版とも市民全世帯に月1回配布）に国保関連記事を毎月掲載するなど、積極的に広報活動に取り組んでいます。

国民健康保険制度自体が度重なる制度改正を経て、大変複雑になってきており、大変理解しにくいものになってきています。今後とも、医療制度改革に伴う変更点や、本市の取り組みを理解して頂けるよう、多様な広報媒体を活用しながら積極かつ有効な広報活動をしていきたいと考えています。

国保被保険者の動向（年度末集計）

年度	京都市人口 (人)	京都市世帯数 (世帯)	被保険者数 (人)	国保加入率 (%)	加入世帯率 (%)
16	1,466,418	647,984	489,749	33.4	41.9
17	1,470,593	654,675	492,256	33.5	42.5
18	1,467,285	661,005	490,345	33.4	42.6

1人あたりの医療費（3～2月診療分ベース） (円)

年度	若人分	退職者等分	老人保健分	全体
16	207,166	394,260	949,922	423,461
17	219,967	416,521	998,975	442,840